



枯れ葉の季節 三輪さやか

市民活動ニュース

きらめき亀山21

2006年11月



第67号

山峡よりよみがえった街道のにぎわい

「もてなしの心」を全国に！東海道シンポジウム阪之下 宿大会 10/28

毎年、神奈川から大阪守口まで全国から200～300人近くが集まる東海道シンポジウム。昨年、このビッグイベントが坂下宿で開催すると聞き、耳を疑った。資金は？会場は？宿泊施設は？会場までのアプローチは？地域の住民も少なく、問題は山積みだった。しかし、実行委員会が回を重ねるに連れ、その疑念は吹き飛んだ。実行委員会は、知恵を活かし、シンポジウムを従来の歌舞宴曲一辺倒のイベントから歴史ある宿場型のイベントへと転換させ、集落の住民を総動員して今も変わらぬ「もてなしの心」を全国にアピールした。

関にこの人あり、岡田集平氏は基調講演で、「宿場は相互の繋がりがあるからこそ栄衰はあっても消え去ることはない。必ず蘇る。」と格調高く締めくくった。

かつて、村人の学び舎であった鈴鹿峠自然の家のグラウンドには巨大なテントと中央にキャンプファイヤーが据えられた。また、地元住民総出で猪鍋など手づくりの心のこもった料理でもてなした。時代は変わっても、今なお残るもてなしの心は遠来の客人たちを感動させた。

夜景を彩るやわらかな光の帯、恒例となったペットキャンドル1000灯の夕べ、坂下から誕生したこのアイデアも今、参加者を通じて各地に広がろうとしている。



筆捨に出現 四軒茶屋

翌日の10月29日（日）、さわやかに晴れ渡った秋の日、遠来の客を含めた約200人が関支所から坂下を経て急坂の旧東街道を鈴鹿峠に登り土山に至るウォーキング大会が開催された。保育園児から80代の高齢者まで、心地よい風の中、和気あいあいと歩を進めた。

途中、筆捨山を望む地では、間伐材で四軒茶屋が復元された。復元された鯖寿司をはじめ、その他各地でふるまいがあり、昼すぎには全員がゴールである土山の万人講に到着しすべての行事を完璧に終えた。

（伊藤）



大会成功を全身で喜ぶ坂下の皆さん

目次：

東海道シンポジウム 市民活動チャレンジ講座	1
市民交流の日	2
皆さんの感想から 加太特産品見学会	3
市民参画協働室から イベントのお知らせ 森の健康診断報告会	4



会場を沸かせたパネルディスカッション

パネラーの皆さんが宿場への思い入れを楽しそうに語り合った。



筆捨山の茶屋
現在は坂下と表記されますが広重の絵では阪之下宿と記載されていた

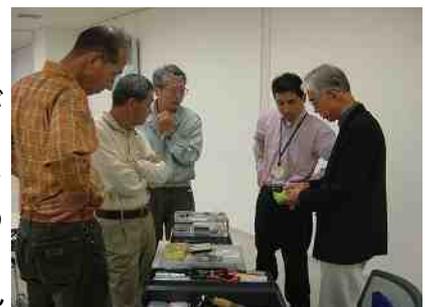
市民活動チャレンジ講座

第4回「おもちゃドクター現る ～長島おもちゃ病院の取り組み～」

10月14日（土）、亀山市総合保健福祉センター「あいあい」大会議室で、第4回市民活動チャレンジ講座として、長島おもちゃ病院の丸山善頌氏が講演した。

丸山氏は持ち込まれたおもちゃを無償で修理するNPOを、5年間続けておられる。壊れたおもちゃが直って、子ども達の喜ぶ姿が最高の喜びだとのことである。

講演終了後、おもちゃ病院を始めてみたいと動き出した受講生も現れた。興味ある方は、市民参画協働室までご連絡下さい。





定例市民交流の日 2006年10月21日（土） 3F第1-2委員会室 出席者33名

メインテーマ「どうする若者の未来 ～地域で何ができるのか？～」

講師：NPO寺子屋プロジェクト 遊休人財活性化プロジェクト 井上さん

本業は学習塾の経営者。99年頃からNPOの中間支援に関わり始めた。最近は教育に特化した中間支援の活動（企画、人材育成、マネジメント支援、ファシリテート）が多い。

働く意欲のない若者「ニート」が増えているとメディアが広げたが、就職を全く希望しない若者は増えていない。就職したいが求職していない若者は増えているが、若年失業者やフリーターはそれよりも増えている。求職しない理由は病気、自信がもてないなど多様で、「働く意欲のない若者」とひとくくりにはできない。

「働きアリの法則」というのがある。アリを観察すると、よく働くアリ、普通に働くアリ、働かないアリの割合が2：6：2に分かれるが、働かないアリだけを集めても同じように2：6：2になる。アリの生態を人間にそのまま適用するわけにいかないが、社会全体を考える視点として参考にすべき。「今は働いていなくても、きっかけとチャンスさえあれば働ける財産」との思いをこめ、「遊休人財」というネーミングにした。

若年無業者の問題は、ピラミッド型社会が疲弊し組織に帰属しない個人の増加、学校教育での職業訓練が少なく、それを担ってきた企業が不況でパートや派遣社員を増やしやらなくなった、仕事への習熟が自己実現につながりにくい等々、社会の問題と個人の問題が複雑に重なりあっていて原因が特定できない。

包括的、継続的、個別的な支援が必要であるが、ニート問題に特化した総合窓口がない。コーディネートできる人材育成が必要である。

質問と意見

意見：非求職型と求職型をわける必要があるのか。同じでは。

質：家庭の崩壊は影響があるか？あると思うがすべてではない。

質：ニートの問題は企業の求人が増えれば解決できるのか、社会・家庭の問題か、価値観の問題か？> 景気回復で雇用は増えるが根本解決には思わない、根深いと思う。

質：どういう人が塾に来ているのか？> 自分に対するイメージが離れていて自信が持てない若者等。

ありのままを受け入れる支援を。コンプレックスを受容して援助。内発的な力を引き出し気持ちは仕事をしたいので、ちょっと肩を押すことができれば改善されるのではないかと思う。

正規で低賃金で働いている若者もいる。収入が少ないが想いをかなえる仕事はある。

個人で努力してやるべきこともあるができないこともある。社会で出会いの場が少ないと思う。

高校生に少し上の年代の人たちから話を聞かせることをしているところもある。時代の変化の変わり目、先進国の抱える共通の問題、豊かさの問題でもあるが生活水準は元には戻らない。

質：当事者の声は？> ほとんど拾えていないのが現状。チャンスが無いと思っている若者が多い。

意見：最近まで隣近所の交流があったと思う。今は助け合うことをしなくなった。失敗話もできる関係があればよいが、つながりの希薄も感じている。

来年就職するが不安もある。わくわく感と本当にできるのかの不安もある。引きこもりの子どもはネットで世間と関係を絶つが、働かねばならないと思っている子がほとんど。一歩踏み出す手立てが必要。大企業の非正規が問題。長所をのぼす仕事を与える中小企業の親父もいる。

平成不況のリストラで企業では中堅への負担が増えている。中堅のモチベーションが下がっている。

自分の家では、子どもに将来を聞いても「分らん」との返事で親として心配。

私たちの世代はつらいことが在ってもがんばってきた。今の子の育ちの違いががんばろう感がなくなってきたと思う。今ニート世代の人も20年前は生き生きしてお手伝いもよくしたし意欲的な子ども達だった。それがどうしてそうなったか、どこで変わったのかどこで意欲を剥ぎ取られたか。

社会のしわ寄せも来ている。社会支援が大切だと思う。子どもがニートになりかけ。以前は明るかったが人と違うことに気付くと個々の問題でぶつかっている。経験できるものでないとわからないことがある。

少し前から製造業は3Kだと親も子どもを行かせなかった。子どもに体を張って教育しなかった。親が悪い。



講師の井上さんより
「若者の未来」というとても大きなテーマを頂戴したため、短い時間では解りやすくお伝えすることが難しく、お役に立てたのかどうか解りませんが、後の意見交換では、たくさんのご質問やご感想をいただき、気持ちよくお話しさせて頂くことができ、嬉しく思いました。





解決の道は？

まだ取り組みが始まったばかりである。地域も関わる必要がある。異年齢の子ども達がつながる場を、地域で取り組んだらどうか。その場合、行政にも関わってほしい。人生の中で、何が好きか早くキャッチする職場体験も良いのではないか。親の言うことを聞かない子ども、地域の指導員のことは聞く場合が多い。

参加者のアンケートから

・ためになりました。・ノートに対して新しく理解できた。ノートも個人の問題で難しいと思う。・話の内容が難しかった。分かりにくかった。・初めてなので印象としては良悪は分からないが、参加させてもらって、よかった。・自己紹介のところで、「内発的動機付け」に関わる塾をされているということでしたが、その「内発的動機付け」の話をもう少し詳しく聞きたかった。・具体的な話をもう少し聞きたかった。梓の話だけでは。・ノートに関して、社会の様々な問題について考えることができた。・多くの方々の意見が聞けて参考になり、楽しく過ごさせて顶きました。・不登校（ノートと関係あり）・今、社会で特に関心を持っている内容であった。

加太特産「きのこ栽培地」見学会

鹿伏兎山脈（かぶとやまなみ）グループは、主に加太地区の定年退職された方で構成され、荒廃農地を活用し、きのこ、自然薯、梅、シキビなど加太での特産物づくりに精力的に取り組んでいる。

11月3日（金）、市民参画協働室主催の現地見学会が開催され、市民活動ニュース等で行事を知って応募した市民約30名が参加した。

当日は、林業総合センターに集合後、グループの皆さんにまず自然薯（じねんじょ）畑に案内していただいた。自然薯は本来、山に生えているもので、収穫するには地中を深く掘る必要があるが、畑では斜め25°に埋めたパイプの中でまっすぐに生育させるので、収穫も容易である。

次にシキミ畑を見学した。シキミは昔植えられものだが、加太まで引き取りに来る業者がいなくなってから、放置され、荒れ果てていた。そのシキミ畑を整備し、商品として売り出し、現在では既に名古屋圏にも出荷している。

3番目は梅畑である。猪や鹿の害から守るため高い塀で囲まれた畑では、梅の他に健康食品として脚光を浴びているヤーコンが作られていた。また、猿の被害をいかに防ぐか工夫が続けられており、猿よけにトマトに似た形状の唐辛子も植えられていた。ヤーコンは芋も葉も食べられ生活習慣病の予防に効果があると言われて

いる。梅畑はこの1箇所だけでなく、各所に点在しているのだそうだ。

最後の見学地、“みえの安心食材”の指定を受けた「ひらたけシメジ」の生産場では、この日のために収穫せずに残していただいていた大きなキノコに一同驚いた。地元の皆さんに準備していただいた吸い物でいただくと、食感が良く味もまろやかで大変美味しかった。バター炒めにしても良いのだそうだ。

原木は直径が数十センチもあるエノキでここまでなるのはたいへんだとのこと。

自然薯も試食させていただいた。日頃食べている長芋とは比較にならない濃厚な食感だった。これらの産物は道の駅などで加太特産として既に売られている。

次は加工に挑戦できたらと、グループの皆さんはますます夢が尽きない模様。鹿伏兎山脈グループは、これから地域に戻ってくる退職者の生きがいとして、また、地域興しとして更に発展していくことだろう。



自然いっぱいの加太地区。でも獣害対策がたいへん。これは間伐材を活用した鹿と猪よけの高い塀

市民部市民参画協働室からのお知らせコーナー



第5回市民活動チャレンジ講座

「話題のコミュニティビジネスを知ろう」

日時：11月21日（火）19：30～ 市役所3F大会議室

講師：特定非営利活動法人 市民フォーラム21

事務局次長 松本美穂氏

*「コミュニティビジネス」とは、地域の課題を地域住民が主体となって取り組み、解決する活動です。「ビジネス」と呼ぶのは、活動をより効率的に、かつ、始めた以上は責任を持って継続的・安定的に行うため、いわゆる「ビジネスの手法」を取り入れ、事業として運営するためです。



12月市民交流の日「きらめき亀山21」

日時：12月21日（木）19：30～

場所：市役所3階大会議室

内容：テーマ
「市民協働センター

来春オープン」

*クリスマスも間近。来春にオープンする東町の市民協働センター（旧百五銀行亀山支店跡）について語りましょう。お菓子等持ち込み歓迎！



改装準備中の百五銀行跡

申込・問い合わせは市民参画協働室まで



亀山宿観光ボランティアガイド

養成講座参加者募集！！

日程・場所

（1日目）

11月27日（月）AM10:00～PM15:00

亀山市総合保健福祉センター

あいあい2階研修室

（2日目）

11月29日（水）AM10:00～PM15:00

亀山市役所3階大会議室

内容：1日目...亀山城周辺について

2日目...能褒野御陵周辺について

（午前中は現地研修です。）

*昼食は各自ご持参下さい。

受講料：無料

申込期日：11月22日（水）

申込・問い合わせ先：

亀山宿観光ボランティアガイド連絡協議会事務局

（0595-84-5049）



市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。詳しくは市民参画協働室まで

鈴鹿の森林 命の水 森の健康診断報告会

今年の5月に坂下周辺で約100名の皆さんが森林の実態調査（森の健康診断）をしました。その結果が三重大の研究者や森林ボランティアの手でまとめられましたので、報告会をします。

まずは11月18日（土）19：00から坂下馬子唄会館で、主に地元の皆さんを対象に報告会開催

そして11月25日（土）13：00～15：30 鈴鹿市文化会館 さつきプラザでシンポジウム

基調講演『森林と水と環境』三重大 斎藤昌宏教授 他盛りだくさん

私たちの命の源である森林。でもスギやヒノキの森が今、各地で荒れ果て“緑の砂漠”となっています。

まずは実態を知ることから。「森の健康診断」それは素人でも参加できる森林の再生への第一歩です！

問合せ先：鈴鹿川流域 森の健康診断 事務局 亀山市東町1-2-22 ねこの館内 TEL：090-8550-8318



編集作成：「きらめき亀山21」企画会議（問い合わせ先：亀山市市民部市民参画協働室 0595-84-5008）

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp

この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市役所市民活動コーナー・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子唄会館・老人福祉センター・健康づくり関センター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター（津市）】E-MAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/ 市民ネット http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/ 情報いっぱい「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。